

### 歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000									
項	01 商工費							所属課名	商工課									
目	02 商工業振興費	26,083	26,083	22,946	22,946	0	0	内線番号										
大	028 企業立地促進補助金							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額							
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき								
小	00		0	0	0	0	22,946		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ								
細	0		0	0	0	0	0		0	0		節	工業の振興					
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳										
(1) 事業の概要 企業誘致を推進していくためには、各種基盤整備や用地、労働力の確保なども必要であるが、企業の地方進出意欲を醸成し、進出を決定づけるためには企業から見た経済的なメリットもより重要な要素になる。また、新たな雇用を創出する地元企業の増設や移転についても誘致企業と同様に支援していく必要がある。このような状況の中で、誘致企業や増設、移転しようとする既存企業を支援する米子市独自の優遇制度を適用することで、米子市の企業立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。								区分				金額	財源	款	項	目	節	金額
(2) 事業効果 本市への企業進出意欲を増大させる要因となるとともに、地元企業の設備投資及び雇用の増加が期待でき、本市経済の活性化に寄与する。								19 負担金補助及び交付				22,946						
2. 根拠法令																		
3. 用地の状況																		
4. 基本計画との関連																		
5. 本年度の計画効果																		
(1) 事業計画 工場立地促進補助金... 操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年度における投下固定資産に係る固定資産税相当額 雇用促進補助金... 新規常用雇用者数 × 30万円 (当面は10万円 × 3年) (雇用期間が1年を超える新規常用雇用者が10人(中小企業は3人)となるもの) 平成19年度交付予定 工場立地促進補助金 2社 10,046,000円 雇用促進補助金 4社 12,900,000円 計 22,946,000円  平成18年度交付予定 工場立地促進補助金 2社 13,082,998円 雇用促進補助金 4社 13,000,000円 計 26,082,998円								6. 財源の説明										
								(1) 他市の状況 鳥取市企業立地促進補助金... 投下固定資産額に一定率(0.5%~5%)を乗じた額と、新規雇用者数に10万円を乗じた合計額を交付。 倉吉市企業立地奨励事業補助金... 用地の取得額に一定率(15%~20%)を乗じた額を交付 境港市企業立地促進補助金、境港市工場立地促進補助金... 操業開始時における当該固定資産に対する固定資産税相当額を3年間に分割して交付。										
								(2) 事務事業報告の反映状況 評価結果・・・現状維持 企業の進出状況、鳥取県及び他市の動向によっては見直しを検討。										
目的別 性質別																		

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2503000000	所属課名 商工課	内線番号																																														
					うち復活額	一般財源																																																		
大 事 業	032 流通業務団地立地促進補助金	17,134	17,134	12,527	12,527	0	0																																																	
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額																																													
小 事 業	00								章	『産業』がいきいき																																														
細 事 業	0								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5"></th> <th colspan="2">節</th> <th colspan="4">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th colspan="5"></th> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>財源</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目 節 細節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" rowspan="2">                     1. 事業の概要と必要性                      (1) 事業概要                      米子流通業務団地内の土地を米子市から買い受け、その取得の日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する                      流通業務施設立地補助金                      補助対象：投下固定資産にかかる固定資産税相当額                      補助期間：操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年間                      雇用促進補助金                      補助対象：新規常用雇用者数×30万円(ただし、雇用期間が1年を超える者に限る)                      支出方法：1年度に10万円づつ3年度に分割して支出                 </td> <td>19</td> <td>負担金補助及び交付</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12,527</td> </tr> <tr> <td colspan="6">6. 財源の説明</td> <td colspan="5">事務事業評価・・・現状維持</td> </tr> </tbody> </table>																節		本年度の財源内訳									区分	金額	財源	款	項	目 節 細節	金額	1. 事業の概要と必要性 (1) 事業概要 米子流通業務団地内の土地を米子市から買い受け、その取得の日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する 流通業務施設立地補助金 補助対象：投下固定資産にかかる固定資産税相当額 補助期間：操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年間 雇用促進補助金 補助対象：新規常用雇用者数×30万円(ただし、雇用期間が1年を超える者に限る) 支出方法：1年度に10万円づつ3年度に分割して支出					19	負担金補助及び交付					12,527	6. 財源の説明						事務事業評価・・・現状維持				
					節		本年度の財源内訳																																																	
					区分	金額	財源	款	項	目 節 細節	金額																																													
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業概要 米子流通業務団地内の土地を米子市から買い受け、その取得の日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する 流通業務施設立地補助金 補助対象：投下固定資産にかかる固定資産税相当額 補助期間：操業開始日が属する年の翌年の4月1日から始まる年度から3年間 雇用促進補助金 補助対象：新規常用雇用者数×30万円(ただし、雇用期間が1年を超える者に限る) 支出方法：1年度に10万円づつ3年度に分割して支出					19	負担金補助及び交付					12,527																																													
					6. 財源の説明						事務事業評価・・・現状維持																																													
2. 根拠法令 米子流通業務団地立地促進補助金交付要綱																																																								
3. 用地の状況																																																								
4. 基本計画との関連																																																								
5. 本年度の計画効果 平成18年度交付予定 流通業務施設立地補助金 16,034,000円 雇用促進補助金 1,100,000円 3月補正予定分 105,000円 計 17,029,000円  平成19年度予算 流通業務施設立地補助金 11,827,000円 雇用促進補助金 700,000円 計 12,527,000円																																																								
目的別 性質別																																																								

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 02 商工業振興費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2503000000					
					うち復活額	一般財源	所属課名	商工課						
		0	2,000	1,150	1,150	0	0	内線番号						
大 中 小 細	060 都市エリア産学官連携促進事業 00 00 0	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計画 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
			0	0	0	0	1,150		章	『産業』がいきいき				
				0	0	0	0	1,150	節	地域の活力を生み出す産業のまちづ	0			
				0	0	0	0	1,150	細節	工業の振興	0			
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
【事業概要】地域の主体性のもと、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成を図る。平成18年4月、鳥取県が提案した「染色体工学技術による生活習慣病予防食品評価システムの構築と食品等の開発」が文部科学省に採択され、平成18年6月から事業開始。当該事業は、食品製造業が集積している米子・境港エリアの特性を生かした産学官共同研究。【参画機関】鳥取大学、県産業技術センター、民間企業10社(内、市内企業4社)【事業機関】H18～20年度					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
【必要性】1. 鳥取大学の先端技術と地元企業等が有する水産バイオマスの独自技術が連携し、新産業を創出するものであり、本市への大きな経済効果と健康長寿社会の発展に大きく貢献すると見込まれる。2. 国費は地域資金の額によって決定されるマッチングファンド形式であため、地域資金の確保が全体事業費を担保する必須条件になっている。					19	負担金補助及び交付	1,150							
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
1. ヒト染色体ベクターを利用した機能性評価技術の開発研究の推進														
2. 動物・ヒト臨床による機能性評価法の開発研究の推進														
3. 水産資源からの機能性食品素材・食品開発の推進														
4. マーケティング・技術開発動向調査による事業化検討の推進														
5. シンポジウム、成果普及発表会の実施による啓蒙普及														
6. 鳥取大学と共同研究を行っている地元企業への研究開発支援														
7. 科学技術コネクティヴによる研究成果の推進と研究成果の事業化に向けての活動推進														
予算要求額 交流事業・共同研究事業実施負担 1,150千円					6. 財源の説明									
					【財源内訳】									
					・交流事業(シンポジウム、成果普及発表会) 625千円									
					・共同研究事業支援 525千円									
					計 1,150千円									
					【事務事業評価】									
					3年間にわたる事業計画を推進することにより、事業全体としての成果を出すことが可能になるため、継続実施する必要がある。									
目的別 性質別														

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度	前年度	各課	調整結果額			所属課コード	2503000000																																																																																																																																																																																																																												
項	01 商工費	当初予算	現計予算	要求額	うち復活額	一般財源	所属課名	商工課																																																																																																																																																																																																																													
目	02 商工業振興費	0	0	1,939	1,636	0	内線番号																																																																																																																																																																																																																														
大	061 弓浜絣産地維持緊急対策事業						実	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額																																																																																																																																																																																																																											
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	章	『産業』がいきいき																																																																																																																																																																																																																												
小	00		0	0	0	0	1,636	節	地域の活力を生み出す産業のまちづ																																																																																																																																																																																																																												
細	0		0	0	0	0	1,636	細	工業の振興																																																																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <tr> <td colspan="5">1. 事業の概要と必要性</td> <td colspan="2">節</td> <td colspan="4">本年度の財源内訳</td> </tr> <tr> <td colspan="5">(1) 事業の概要と必要性</td> <td colspan="2">区分</td> <td colspan="2">金額</td> <td colspan="2">財源</td> <td colspan="2">款 項 目 節 細 節</td> </tr> <tr> <td colspan="5">昭和50年9月に国の伝統的工芸品の指定を受けた「弓浜絣」は、事業者の激減と技術保持者の減少・高齢化により、このままでは10数年後に産地として消滅する可能性がある。このため、県は生産設備の共同利用等、生産の拠点である「弓浜がすり伝承館」を平成18年度事業として改修整備することに併せ、平成19年度から、鳥取県、米子市、境港市が協調して、弓浜絣技術者の後継者育成事業を実施する。</td> <td colspan="2">19 負担金補助及び交付</td> <td colspan="2">1,636</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">【事業内容】・事業実施者 鳥取県弓浜絣協同組合 ・実施場所 弓浜がすり伝承館 ・研修生 3名を公募(全国公募、地元優先) ・研修期間 3年間(週5日研修) ・事業費 講師・事務員人件費、材料費、光熱水費、研修生支援費</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">2. 根拠法令</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">3. 用地の状況</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">4. 基本計画との関連</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">5. 本年度の計画効果</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">1 効果 ・零細な弓浜絣事業者が後継者を育成することができない危機的な状況を回避し、技術後継者へ意欲のある人材を発掘し、技術の伝承を図ることができる。 ・弓浜絣事業者に事業継続への活力を喚起することができるため、産地の維持に大きな効果がある。 ・研修生への支援により、研修生が集中して技術研修を受けることができる。 ・弓浜絣の販路開拓、販路拡大につながる新たな事業展開への誘因効果がある。</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">2 今後の事業展開 ・当該事業は当面1回(3年間)実施し、2回目以降は1回目の成果を見極めて検討する。 ・人材育成事業に併せて、観光事業との連携や新商品開発など、販路拡大につながる事業を検討する。</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">3 特記事項 県が平成18年度事業として実施する弓浜がすり伝承館の改修事業は、この後継者人材育成事業の実施が前提となっており、当該事業が実施できなければ、当該施設の改修凍結だけでなく、施設の存続に関わってくる。</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">6. 財源の説明</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">【財源内訳】 ・平成19年度事業費 7,877千円(7月から事業開始、9月から研修開始予定) 内訳 国 1,210千円 鳥取県 3,272千円 米子市 1,636千円 境港市 1,636千円 その他 123千円 ・平成20年度以降 11,517千円(通年ベース) 内訳 国 1,660千円 鳥取県 4,867千円 米子市 2,434千円 境港市 2,434千円 その他 123千円</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">【県、境港市の状況】 予算要求済み</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">【事務事業評価】 実施は適当である。</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">目的別</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">性質別</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>											1. 事業の概要と必要性					節		本年度の財源内訳				(1) 事業の概要と必要性					区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		昭和50年9月に国の伝統的工芸品の指定を受けた「弓浜絣」は、事業者の激減と技術保持者の減少・高齢化により、このままでは10数年後に産地として消滅する可能性がある。このため、県は生産設備の共同利用等、生産の拠点である「弓浜がすり伝承館」を平成18年度事業として改修整備することに併せ、平成19年度から、鳥取県、米子市、境港市が協調して、弓浜絣技術者の後継者育成事業を実施する。					19 負担金補助及び交付		1,636						【事業内容】・事業実施者 鳥取県弓浜絣協同組合 ・実施場所 弓浜がすり伝承館 ・研修生 3名を公募(全国公募、地元優先) ・研修期間 3年間(週5日研修) ・事業費 講師・事務員人件費、材料費、光熱水費、研修生支援費													2. 根拠法令													3. 用地の状況													4. 基本計画との関連													5. 本年度の計画効果													1 効果 ・零細な弓浜絣事業者が後継者を育成することができない危機的な状況を回避し、技術後継者へ意欲のある人材を発掘し、技術の伝承を図ることができる。 ・弓浜絣事業者に事業継続への活力を喚起することができるため、産地の維持に大きな効果がある。 ・研修生への支援により、研修生が集中して技術研修を受けることができる。 ・弓浜絣の販路開拓、販路拡大につながる新たな事業展開への誘因効果がある。													2 今後の事業展開 ・当該事業は当面1回(3年間)実施し、2回目以降は1回目の成果を見極めて検討する。 ・人材育成事業に併せて、観光事業との連携や新商品開発など、販路拡大につながる事業を検討する。													3 特記事項 県が平成18年度事業として実施する弓浜がすり伝承館の改修事業は、この後継者人材育成事業の実施が前提となっており、当該事業が実施できなければ、当該施設の改修凍結だけでなく、施設の存続に関わってくる。													6. 財源の説明													【財源内訳】 ・平成19年度事業費 7,877千円(7月から事業開始、9月から研修開始予定) 内訳 国 1,210千円 鳥取県 3,272千円 米子市 1,636千円 境港市 1,636千円 その他 123千円 ・平成20年度以降 11,517千円(通年ベース) 内訳 国 1,660千円 鳥取県 4,867千円 米子市 2,434千円 境港市 2,434千円 その他 123千円													【県、境港市の状況】 予算要求済み													【事務事業評価】 実施は適当である。													目的別													性質別												
1. 事業の概要と必要性					節		本年度の財源内訳																																																																																																																																																																																																																														
(1) 事業の概要と必要性					区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節																																																																																																																																																																																																																										
昭和50年9月に国の伝統的工芸品の指定を受けた「弓浜絣」は、事業者の激減と技術保持者の減少・高齢化により、このままでは10数年後に産地として消滅する可能性がある。このため、県は生産設備の共同利用等、生産の拠点である「弓浜がすり伝承館」を平成18年度事業として改修整備することに併せ、平成19年度から、鳥取県、米子市、境港市が協調して、弓浜絣技術者の後継者育成事業を実施する。					19 負担金補助及び交付		1,636																																																																																																																																																																																																																														
【事業内容】・事業実施者 鳥取県弓浜絣協同組合 ・実施場所 弓浜がすり伝承館 ・研修生 3名を公募(全国公募、地元優先) ・研修期間 3年間(週5日研修) ・事業費 講師・事務員人件費、材料費、光熱水費、研修生支援費																																																																																																																																																																																																																																					
2. 根拠法令																																																																																																																																																																																																																																					
3. 用地の状況																																																																																																																																																																																																																																					
4. 基本計画との関連																																																																																																																																																																																																																																					
5. 本年度の計画効果																																																																																																																																																																																																																																					
1 効果 ・零細な弓浜絣事業者が後継者を育成することができない危機的な状況を回避し、技術後継者へ意欲のある人材を発掘し、技術の伝承を図ることができる。 ・弓浜絣事業者に事業継続への活力を喚起することができるため、産地の維持に大きな効果がある。 ・研修生への支援により、研修生が集中して技術研修を受けることができる。 ・弓浜絣の販路開拓、販路拡大につながる新たな事業展開への誘因効果がある。																																																																																																																																																																																																																																					
2 今後の事業展開 ・当該事業は当面1回(3年間)実施し、2回目以降は1回目の成果を見極めて検討する。 ・人材育成事業に併せて、観光事業との連携や新商品開発など、販路拡大につながる事業を検討する。																																																																																																																																																																																																																																					
3 特記事項 県が平成18年度事業として実施する弓浜がすり伝承館の改修事業は、この後継者人材育成事業の実施が前提となっており、当該事業が実施できなければ、当該施設の改修凍結だけでなく、施設の存続に関わってくる。																																																																																																																																																																																																																																					
6. 財源の説明																																																																																																																																																																																																																																					
【財源内訳】 ・平成19年度事業費 7,877千円(7月から事業開始、9月から研修開始予定) 内訳 国 1,210千円 鳥取県 3,272千円 米子市 1,636千円 境港市 1,636千円 その他 123千円 ・平成20年度以降 11,517千円(通年ベース) 内訳 国 1,660千円 鳥取県 4,867千円 米子市 2,434千円 境港市 2,434千円 その他 123千円																																																																																																																																																																																																																																					
【県、境港市の状況】 予算要求済み																																																																																																																																																																																																																																					
【事務事業評価】 実施は適当である。																																																																																																																																																																																																																																					
目的別																																																																																																																																																																																																																																					
性質別																																																																																																																																																																																																																																					

歳出予算事業概要書

款	07 商工費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2503000000															
項	01 商工費							所属課名	商工課															
目	02 商工業振興費	0	0	3,000	1,000	0	0	内線番号																
大	062 中小企業新製品新技術開発促進補助金							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額													
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき														
小	00								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ														
細	0		0	0	0	0	1,000		節	工業の振興														
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">節</th> <th colspan="2">本年度の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>財源</th> <th>款 項 目 節 細 節</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>負担金補助及び交付</td> <td></td> <td></td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>											節		本年度の財源内訳		区分	金額	財源	款 項 目 節 細 節	金額	19	負担金補助及び交付			1,000
節		本年度の財源内訳																						
区分	金額	財源	款 項 目 節 細 節	金額																				
19	負担金補助及び交付			1,000																				
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>【事業概要】                  中小企業が新技術、新製品の開発を目的として行う研究、試作に係る費用(産学連携を含む)及び開発された新技術、新製品の販路開拓(展示会出展、製品PR、パッケージデザイン等)に係る費用に対して補助金を交付する。</p> <p>【必要性】                  全国的な景気回復の兆しが山陰には反映していない状況の中、本市経済の発展のためには地場産業の発展が必須である。中小企業の新技術・新製品の開発への取り組みは、企業の存続や事業規模の拡大にとって重要な要素であるが、経営体質の弱い中小企業にとってはその費用を捻出することが困難な状況であるため、新製品開発等への取り組みに要する経費への補助制度を創設し、新事業展開への促進を図る必要がある。</p>																								
2. 根拠法令																								
3. 用地の状況																								
4. 基本計画との関連																								
<p>5. 本年度の計画効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の新技術・新製品の開発への取り組みを促進することができ、新技術・新製品の開発による経営体質の強化が期待できる。</li> <li>・大学、高専等との産学連携による新技術・新製品の開発を促進することができる。</li> <li>・製品開発から販路開拓までを補助対象とすることにより、製品化の可能性が高まる。</li> </ul>																								
<p>6. 財源の説明</p> <p>【補助内容】                  新技術・新製品開発補助                  対象経費：150万円まで 補助率：2 / 3 補助限度額：100万円 対象件数：1件</p> <p>【事務事業評価の反映状況】                  「中小企業新分野進出補助金を廃止すると同時に、本市中小企業の新技術・新製品開発を促進する新たな補助制度を創設する。」という評価結果に基づき、本補助制度を新たに創設する。</p>																								
目的別 性質別																								

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号				
					うち復活額	一般財源								
大 事 業	002 観光協会助成事業	38,418	38,653	33,533	32,831	0	0							
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	活力みなぎる米子 『産業』がいきいき 地域の活力を生み出す産業のまちづ 観光地としての魅力づくり	実施計画計上額  0				
小 事 業	00										0	0	32,831	
細 事 業	0										0	0	32,831	
1. 事業の概要と必要性 (1) 事業の概要 観光イベント事業の実施並びに協力、顧客をしぼった効果的な観光客誘致宣伝の実施、 受け地の魅力作り、等を行う。 (2) 事業の効果 事業の実施により、入込み客増加を図り、地域の振興の効果を生み出している。					節		本年度の財源内訳							
					区分	金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
					19	負担金補助及び交付								32,831
2. 根拠法令														
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果 (1) 事業計画 ・地元企業、地元団体の関係先への誘客活動 ・地元企業商品とタイアップした情報発信 ・県外でのイベントに物産、観光コーナー開設 ・米子発の中海圏域、大山圏域をめぐる観光周遊バスの整備・協力 ・かにバスの運行、協力 ・首都圏のメディアを利用した誘客 ・首都圏対策関係者店舗を利用した宣伝 ・皆生温泉海水浴場の清掃事業 ・山陰中央リゾート協議会との共同事業 ・米子空港利用促進懇話会との共同事業 ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等マスメディアを利用した観光宣伝 ・ポスター、リーフレット、散策マップの作成、配布 ・電照広告、野立広告による観光宣伝 ・会員研修、下町ガイド研修による受け地のホスピタリティの向上 ・米子市観光キャンペーン事業(城山フェスティバル、加茂川まつり等)の実施 (2) 事業効果 上記の事業実施により、受け地の魅力が向上され、観光客が増加し地域が活性化される。					6. 財源の説明 1 財源内訳 一般財源 2 事務事業評価の反映状況 評価の結果・・・効率化・改善 人件費削減に着手し、7%の基本給カットを行う。他方で事業の見直しを進める。									
目的別														
性質別														

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2504000000	
					うち復活額	一般財源	所属課名	観光課		
大 中 小 細事業		261,032	258,403	247,853	227,853	0	0	内線番号		
006 コンベンション関連経費								0		0
000		財源内訳	0	0	0	7,631	220,222	実施計画		
000								0		0
0		0		0		0		0		
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳		
(1) 事業の概要 財団法人とっとりコンベンションビューローに対し、運営費、大会開催補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援し活用を図る。また、米子コンベンションセンターの管理運営においては、平成18年度から指定管理者制度を導入したところであるが、さらなる経費節減を図るとともに利用者に対するサービスの向上に努める。					区分			金額		財源
(2) 事業効果 平成17年度鳥取県において、直接的経済効果37億7,000万円、間接的効果24億5,900万円の計62億2,900万円の波及効果があったと推計される。大会、学会等の誘致により参加者の宿泊、飲食、観光等に経済効果があらわれ、地域経済の活発化に繋がる。					4 共済費			7,631		使用
2. 根拠法令					7 賃金					14 01 06 01 003
3. 用地の状況					9 旅費			4		行政財産使用料
4. 基本計画との関連					11 需用費					
5. 本年度の計画効果					12 役務費			107		
(1) 事業計画					13 委託料			108,423		
1. (財)とっとりコンベンションビューローに関するもの					14 使用料及び賃借料					
(財)とっとりコンベンションビューロー運営費補助					15 工事請負費					
大会開催補助					17 公有財産購入費			102,655		
連絡調整会議への出席					18 備品購入費					
2. 米子コンベンションセンターに関するもの					19 負担金補助及び交付			16,664		
米子コンベンションセンター指定管理委託					24 投資及び出資金					
米子国際会議場に係る備品購入費										
3. 米子駅前簡易駐車場に関するもの										
米子駅前簡易駐車場管理運営業務委託										
米子駅前簡易駐車場用地・建物購入費の償還										
(2) その他特記事項										
6. 財源の説明										
(1) 財源の説明										
米子駅前簡易駐車場の土地使用料、駐車場使用料 7,596,453円										
(2) 他市の状況										
・大会開催補助 平成19年度米子CB対象予定総額 6,500千円×1/2										
・コンベンションビューロー運営費補助										
鳥取市：8,149千円、倉吉市：2,778千円、境港市：1,087千円										
評価結果...現状維持、改善効率化										
国際会議場の管理運営を適切に行い、指定管理者制度の導入とともに利用者ニーズに即したサービスとし、利用者側に立ったサービスの向上に努め、一層の経費削減と費用対効果の増大を目指す。										
また、コンベンションの誘致、企画プロデュース、広報宣伝に努め、県外からの参加者の増大を狙う。運営経費は、平成19年度から県・4市の負担割合の見直したところだがさらに、改善に向けて協議をする。										
簡易駐車場の管理運営については、一層の経費削減と目的外利用の排除に向けた改善策を探る。										
目的別 性質別										

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	2504000000		
					うち復活額	一般財源	所属課名	観光課			
		4,500	4,500	1,500	1,000	0	0	内線番号			
大 中 小 細	事業 事業 事業 事業	008 観光案内板等整備事業			地方債	その他	一般財源	実 施 計 画	部	実施計画計上額	
		財源内訳	国庫支出金	県支出金					章		
			0	500	0	0	500		節		
			0						細節	0	
1. 事業の概要と必要性 旧米子市と旧淀江町の合併に伴い、従前あった観光案内板を一新し、新米子市の観光案内として、ふさわしいものとする。					節			本年度の財源内訳			
					区分		金額	財源	款 項 目 節 細節		金額
					13	委託料	1,000	都道	16 02 01 01 029		500
					15	工事請負費			鳥取県合併支援交付金		
2. 根拠法令											
3. 用地の状況											
4. 基本計画との関連											
5. 本年度の計画効果 @ 250,000円 × 4箇所(旧米子地域1箇所、旧淀江地域3箇所) = 1,000,000円 国指定史跡福市遺跡 1箇所(園路、駐車場) 天の真名井 2箇所(駐車場、池の横) 伯耆古代の丘公園 1箇所(駐車場)											
全部で4箇所の観光案内板を整備し、新米子市として入込み客の利便性を図る。					6. 財源の説明 鳥取県合併支援交付金 充当率 1/2 1,000千円 × 1/2 = 500千円						
目的別 性質別											

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額		一般財源	所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号	実施 計画 画	本年度の財源内訳									
						うち復活額	一般財源						財源	款 項 目 節 細 節	金額							
大 事 業	051 米子がいな祭補助事業	7,200	7,200	5,760	5,760	0	0						活力みなぎる米子	実施計画計上額								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						『産業』がいいき									
小 事 業	00		0	0	0	0	5,760						地域の活力を生み出す産業のまちづ	0								
細 事 業	0		0	0	0	0							観光地としての魅力づくり									
1. 事業の概要と必要性													節									
(1) 事業の概要 米子がいな祭に補助金を支出し、財政面から支援を行う。 (2) 事業の効果 地域住民の触れ合いの場を創出し、連帯感を高めふるさと意識の高揚を図る。 また、一大観光イベントとして地域経済を活性化させる。													区分		金額		財源		款 項 目 節 細 節		金額	
													19	負担金補助及び交付	5,760							
2. 根拠法令																						
3. 用地の状況																						
4. 基本計画との関連																						
5. 本年度の計画効果																						
(1) 事業計画 がいな祭 総予算27,290,000円のうち、事業費を除く、事務費、会議費、清掃費、 交通対策費、宣伝費を対象に補助する。																						
6. 財源の説明																						
財源内訳																						
一般財源																						
目的別																						
性質別																						

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 商工費 01 商工費 03 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
大 事 業	070 和牛共進会関連観光宣伝推進事業	0	0	6,000	1,750	0	0								
中 事 業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 部 章 節 細 節	活力みなぎる米子	実施計画計上額					
小 事 業	00								『産業』がいきいき						
細 事 業	0								地域の活力を生み出す産業のまちづ	0					
					0	0	1,750	観光地としての魅力づくり							
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳							
1 事業概要 第9回全国和牛能力共進会の開催に併せて、本市の観光案内、観光宣伝を実施する ・日時 平成19年10月11日(木)～14日(日) ・場所 米子市崎津団地 観光パンフレットの作成、配付及び観光案内					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
2 必要性 全国から訪れる16万人に本市の魅力をアピールし、観光客としてのリピーターを増やすことが重要である					11	需用費	1,750								
2. 根拠法令															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果															
1 観光パンフレットの作成、配付 会場等での観光案内用観光パンフレットを作成、配付し、米子周辺の観光スポット等を案内する。約16万人の来場が予想されており、全国の多くの方に大山・中海圏域の魅力をアピールする絶好の機会である。															
6. 財源の説明															
財源内訳															
一般財源															
目的別 性質別															

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	07 01 03	商工費 商工費 観光費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 2504000000	所属課名 観光課	内線番号				
						うち復活額	一般財源								
大 事 業	071	エコツーリズム推進事業	0	0	1,185	990	0	0							
中 事 業	00		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
小 事 業	00									章	『産業』がいきいき				
細 事 業	0			0	0	0	0	990		節	地域の活力を生み出す産業のまちづ				
								細節		観光地としての魅力づくり	0				
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
1 事業概要 中海・宍道湖がラムサール条約登録され、また、エコツーリズム推進法も検討されていることから、本市の自然環境を守るとともに活用することを目指す。 日本エコツーリズム協会エコツアーガイド・コーディネーター養成講習会の招致支援開催招致経費 1,000千円 補助率1/3(事業主体・鳥取県・米子市が各1/3負担) 米子市観光協会エコツーリズム推進補助事業 エコツアー商品開発調査、エコツーリズム推進講習会、ライフセーバーウォーク、リスタートメニュー等の実施 2 必要性 エコツーリズムを推進することで本市固有の歴史文化や自然環境を保全するとともに観光資源としても活用して地域の活性化を図る。						区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
2. 根拠法令						9	旅費	57							
3. 用地の状況						13	委託料								
4. 基本計画との関連						19	負担金補助及び交付	933							
5. 本年度の計画効果 1 観光関係者及び市民の環境保護活動への意識を高揚するとともに参加を促進し、また、エコツアーガイド・コーディネーターを養成し、本市が率先して環境問題に取り組む「エコ観光地」としてアピールする。 2 環境保全とその活用とのバランスの取れた質の高い観光地の実現を目指す。 3 エコツアーガイド・コーディネーターによる新たなエコツアー商品の開発を目指す。 4 エコツーリズムを推進するために、関係者の講習会を開催する。						6. 財源の説明 財源内訳 一般財源									
目的別 性質別															